

(社)日本マリーナ・ビーチ協会 係留施設研究委員会による出版物の案内

協会では「プレジャーボート用浮棧橋設計マニュアル」(平成23年度改訂版)の他にも以下の書籍を出版しています。

<p>プレジャーボート用浮棧橋ハンドブック</p> <p>平成7年3月 (社)日本マリーナ・ビーチ協会 係留施設研究会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廉価で利便性の高い係留施設の開発・普及を目的とした浮棧橋ハンドブック ・ 係留施設の構造・機能と分類・比較など一般的事項を網羅 ・ プレジャーボートの種類と諸元、浮棧橋の配置形式、浮棧橋の構造形式分類と設計寸法を記載 ・ 国内マリーナの係留施設に関わる利便性の調査及び設計数値の分析 (定価 4,000 円 消費税、送料込)
<p>プレジャーボート用浮棧橋</p> <p>平成21年8月 (社)日本マリーナ・ビーチ協会 係留施設研究委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ プレジャーボート用浮棧橋の維持管理の向上と標準化を目指した品質管理マニュアル ・ 性能規定により体系化された内容 ・ 日常点検、臨時点検、評価、対策工の方法をそれぞれ部位別に具体的にとりまとめた ・ 施設毎に必ず必要となる維持管理計画書の作成要領を紹介 ・ 点検など記録表のフォーマットと評価基準を詳細に取りまとめた ・ 具体的な事例として点検診断と総合評価の方法を添付 (定価 4,000 円 消費税、送料込)
<p>プレジャーボート用簡易係留施設設計マニュアル</p> <p>平成14年9月 社団法人 日本マリーナ・ビーチ協会 係留施設研究委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボートパークなど放置艇対策を目的とした簡易な係留施設の計画や設計に関する技術的マニュアル ・ 簡易係留施設の形式・特徴などの分類を紹介 ・ 管理係留施設における浮棧橋の係留方法の形式・特徴などを紹介 ・ 係留施設の配置寸法、設計上載荷重を記載 ・ 連絡橋の設計寸法、上載荷重を記載 (定価 3,000 円 消費税、送料込)
<p>プレジャーボート用簡易係留施設設計計算書</p> <p>平成15年11月 社団法人 日本マリーナ・ビーチ協会 係留施設研究委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「プレジャーボート用簡易係留施設設計マニュアル」に基づいた具体的な設計事例を示した計算書。 ・ 船舶の係留方式は、係船ブイ、係船杭、係船ビーム方式についてそれぞれ設計を実施 ・ 弾性係留索の設計事例についても設計方法を紹介 (定価 1,500 円 消費税、送料込)
<p>プレジャーボート用浮棧橋品質管理マニュアル</p> <p>平成18年4月 社団法人 日本マリーナ・ビーチ協会 係留施設研究委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ プレジャーボート用浮棧橋の品質管理の向上と標準化を目指した品質管理マニュアル ・ 工場における製造及び現場設置における品質管理の方法、出来形管理、写真管理、提出書類などを項目別にまとめた ・ 浮棧橋の他、係船ビーム・連絡橋・係留杭等についても網羅 (定価 1,500 円 消費税、送料込)